

42 シカによる植栽木への被害リスク推定手法を開発



WebA°-ジ°

技術のポイント

ニホンジカ(以下シカ)が多い場所では植栽木の被害リスクが高まります。これまで糞粒法やカメラトラップ法などによって推定される生息密度を被害リスクの指標としてきましたが、その調査には時間と経験を要します。そこで、糞、食痕、剥皮痕、足跡、シカ道など、シカによる痕跡の目撃頻度を記録して点数化することで、造林地の植栽木に対するシカの影響度を簡便に評価する手法を開発しました。

連携・橋渡しの方向

この手法は植物の種同定やシカの生態など専門的な知識を必要としません。造林地ごとに影響度を評価して防除対策に活用したり、蓄積データを広域的に評価し、森林整備計画、地域森林計画へ活用することも可能です。

詳細情報

・研究成果:

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/4th-chuukiseika40.html>

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/2022/20220603.html>

・論文等: Journal of Forest Research27:182-190 (2022)、Journal of Forest Research28:194-203 (2023)、九州の森と林業143:1-3 (2023)、BIO九州237:13-16 (2023)、森林総合研究所研究報告 22:209-215(2023)

担当者

九州支所・山川博美

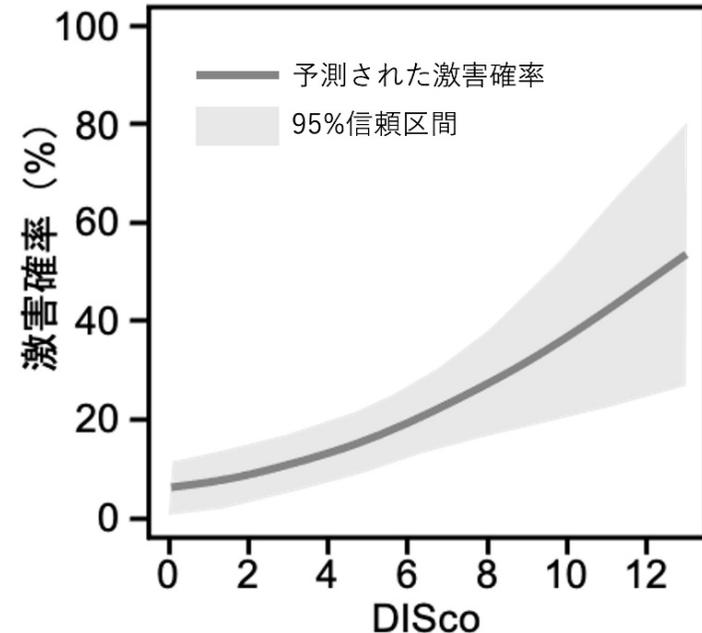


図1 シカ影響スコア(DISco)と植栽木の激害確率の関係(Yamagawa et al. 2023 を改変)

DIScoはシカの痕跡(糞、食痕、剥皮痕、足跡、シカ道)に点数を付与することで算出されます。DIScoの値が高くなるほど、植栽木が食害によって盆栽状の樹形になるような激害確率が増加します。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>